赤ちゃんとお母さんの
ゲストティーチャーを募集します

知立南中学校の3年生が総合的な学習の時間に「よりよい生き方を考えよう」をテーマに、『赤ちゃんとのふれあい教室』を実施します。

知立南中学校ではキャリア教育を進めており、赤ちゃんとのふれあい教室を通して、生徒が命の大切さや自分の存在の意義を実感することを期待しています。地域の皆さんに学校の様子を知っていただくよい機会になりますので、たくさんのご応募をお待ちしています。

▼とき　10月12日(金)　午後2時～3時

▼ところ　知立南中学校

▼募集対象　市内の1歳ごろまでの赤ちゃんとそのお母さん（50組）

▼内容　生徒が赤ちゃんを抱っこしたり、オムツを替えたりしてふれあう体験をします。お母さんには赤ちゃんとのふれあい方を教えていただきます。

▼申込み・問合せ　中央子育て支援センター（知立中央保育園内　☎(81)5500）

マタニティマークを見かけたら
～小さな命をサポートします～

妊娠中、特に初期は赤ちゃんの成長はもちろん、お母さんの健康を維持するためのとても大切な時期です。しかし、外見からは妊婦であるかどうか判断しにくく、つわりなどによりつらい症状がある時もあります。

このマークを付けている人を見かけたら、皆さんからの思いやりある気遣いをお願いします。

＊保健センターでは、マタニティマークのシールを母子手帳交付時に配布しています。ご活用ください。

＊希望者にはマタニティーキーホルダーをお渡ししています。（希望する人は保健センターへ。）

▶問合せ　保健センター（☎82－8211）

妊娠に気づいたら早めに届出をしましょう

妊娠に気づき、診断を受けたら、すぐに届出をしましょう。また健やかな妊娠・出産のために、毎月1回（妊娠24週以降は2週間に1回、36週以降は1週間に1回）、定期的に妊婦健診を受け、母体の健康と胎児の成長を確認しましょう。

保健センターでは、毎週火・木曜日の午前10時から母子手帳を交付しています。母子手帳と妊産婦・乳児健康診査受診票（公費負担による受診券）交付の他、助産師によるお話や妊娠中の様々な相談にもお答えしています。

※火曜日はポルトガル語の通訳さんがいます。

▶問合せ　保健センター（☎82－8211）